



大泉

「人は学ぶ」

「人は変わる」

「人は輝く」

4月 第2号
令和4年 4月25日

発行者 新村 紀昭
編集 菊池 知裕

新年度を迎えて

新年度が始まり、2週間が経ちました。全学年とも大変落ち着いた生活態度で、授業にも前向きに取り組んでいます。新学期の新鮮な、今の気持ちを忘れずに、一年間過ごしてほしいと思います。

さて、今年度の入学式は感染症拡大予防のため、全校生徒の参加はかないませんでした。そこで、入学式で新1年生に話した内容を掲載します。まずは、本校の教育目標についてです。

◆健康：心豊かで健康を目指す人

中学校時代は心も体も大きく成長する大切な時期です。様々な学習活動、体験活動を通して思いやりの心や命を大切に作る心、自然や美しいものに感動する心など、自分の心を育てるとともに、部活動などに積極的に参加して体を鍛え、体力を高めましょう。また、苦しいことから逃げない、精神的な強さ、忍耐力や継続力を養い、仲間と切磋琢磨して自分の心身を成長させましょう。

◆誠実：自分も他人も大切に作る人

「誠実」とは「言葉や行動にうそや偽りがなく、真心がこもっている」という意味です。学校生活を共にする仲間、一人ひとりには個性があり、見方や考え方も人それぞれです。自分の思いとともに、相手の思いや考えも大切にして信頼関係を築き、協力して学校行事や生徒会活動、学級活動に取り組みましょう。特に運動会や合唱コンクールは各学級の団結力が試される伝統行事です。新たな仲間と切磋琢磨し、一丸となってやり遂げる達成感や充実感を味わってほしいです。

◆努力：進んで学習に励む人

中学校は義務教育最後の3年間。社会に出るために必要な知識や技術、問題を解決していくための思考

力・判断力・表現力などを身に付けなければなりません。中学では教科ごとに専門の先生方が工夫した指導や少人数による指導をしますが、大切なのは皆さんの学ぼうとする意欲です。一時間一時間の授業を大切に、PC タブレットも学力を高める道具として活用し、意欲的に家庭学習にも取り組んでください。

続いて、以下の一編の詩を紹介しました。

今

坂村 真民

大切なのは
かつてでもなく これからでもない
一呼吸 一呼吸の
今である

「かつて」とは「昔、以前」のこと。大切なのは、今までがどうだったか、これからどうするかではなく、一呼吸、一呼吸している今、この時、この場で自分は何をしているかだと言っています。感染症の拡大が収まらない中、中学校生活を送る上で思うように進まないこと、できないことがあるかもしれません。しかし、その時々「今」「この場」を大切に、くじけたり逃げたりしないで、できることを精一杯やること、夢や希望、目標に向かって進んでいくことが大切です。人生は「今」「この場」の繰り返しであり、毎日の積み重ねです。失敗や挫折を恐れず、仲間と共に、進んで様々なことに挑戦してください。失敗も自分を成長させてくれます。

式辞の内容は以上です。3年生は最上級生として大泉中の手本を示し、2年生は身近な先輩として1年生に接し、1年生は上級生の姿を見て学んでいきましょう。皆さんの日々成長する姿を楽しみにしています。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様、今年度着任いたしました新村紀昭と申します。微力ながら伝統ある大泉中学校のために、精一杯務めて参りますので、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

新入生 誓いの言葉

新入生代表 1 年 組 小倉 新平

春の日差しも心地よく、若葉が、萌えいずる今日、四月七日。先生方や、先輩方、保護者の皆さま、地域の方々に歓迎され、この入学式を迎えることができ、大変うれしく思います。今、僕は、新しい場所で、新しい人に囲まれ、少し、不安な気持ちもあります。ですが、それ以上に、この、大泉中学校に入学することを、とても楽しみにしていました。そして、新しい環境になり、新たなことに挑戦する、期待の気持ちでいっぱいです。この、伝統ある大泉中学校に入学し、実りのある三年間にするために、僕は、理想の中学生の姿を、三つ考えました。



一つ目は、ひとつの事に集中して取り組める中学生です。中学校では、部活動が始まります。僕は、運動部に入ろうと考えています。自分のため、そして、仲間のために、集中力を最大限に発揮し、技術と体力を身に付けていきたいです。どんな状況においても、辛い練習に一生懸命取り組み、これまでにはなかった、大切なことを見つけるとともに、大泉中学校を、盛り上げていきたいです。二つ目は、友達との関わりを、大切にできる中学生です。私たちは、今日、大泉中学校に入学し、多くの人と、新たに出会いました。これから、様々な場面で様々な人と行動を共にし、気持ちを共有したり、意見を交換したりすることがあると思います。また、運動会や合唱コンクールなどの、学校行事では、特に、仲間との協力が必要になります。お互いが、お互いを尊重し、心を一つにすることで、私たち、一年生の絆が深まっていくはずで、これから三年間、友達との関係を大切に、充実した毎日をしていきたいです。三つ目は、世界に目を向けられる中学生です。今、世界では、人と人が傷つけ合う悲しいことが起こっています。私たち日本人も、人事として考えてはいけないと思います。僕はこれから、より多くの世界の人たちと関わっていきたいと思います。

今、僕たちは、世界平和のために何ができるのか。世界から、悲しみをなくすために、何を学ぶべきかを、追究していきたいです。外国との文化の違い、言葉の壁を乗り越え、国同士が尊重し合える未来を実現するために、今の考えだけにとらわれず、広い視野をもてるよう、学び続けていきます。

最後になりますが、校長先生をはじめ、先生方、保護者の皆さま、地域の方々。皆さまのおかげで、この入学式を迎えることができました。本当にありがとうございます。これから、僕たち新入生に、あたたかいご指導を、よろしくお願いいたします。

僕たち新入生一同、大泉中学校の生徒であることを誇りに思い、勉強や部活動、学校行事に全力で取り組むこと、友達との関係を大切に、絆を深めること、広い視野をもち世界平和を追究することを、今ここに誓います。

歓迎の言葉

在校生代表 3 年 組 大菅 なつみ

桜の花が満開を迎え、暖かい春の日差しに包まれる今日の良き日に、晴れて大泉中学校に入学され、新たな一歩を踏み出した新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

真新しい制服に身を包み、この大泉中学校に登校したみなさんは期待に胸を膨らませていることでしょう。一方で、新しい環境、大きな校舎、見慣れない設備、初めて会うたくさんの人を前にしてスタートした中学校生活に不安を感じている人もいます。

二年前、私たちもみなさんと同じように期待や不安を抱きながら入学してきました。廊下で明るく声をかけてくれる先輩方や、私たちに寄り添って話をしてくれる先生方のおかげで、だんだんと緊張がとけ、学校生活に馴染む

ことができるようになっていきました。そして、行事などの様々な活動を経験していく中で、先輩方に大泉中学校の伝統を教えていただいたり、同じ目標に向かって仲間と協力する楽しさを知ったりしました。行事を経験していくごとにクラスの仲が深まり、日々、にぎやかで楽しい学校生活を送っています。私たちも先輩として、みなさんが一日も早くこの学校に慣れることができるように応援しています。高い壁にぶつかったときには私たちを頼ってください。

ここ大泉中学校は、75年というとても長い歴史と伝統のある学校です。そして、750人を超える生徒が一人ひとり自分にできることを探し、積極的に委員会などの仕事に取り組んでいます。このように自分の仕事に責任をもって積極的に取り組む生徒の姿は、「大中プライド」と呼ばれ、先輩方が大切に受け継いできた伝統の一つです。

他にも大泉中学校には伝統として受け継がれてきたものがあり、それらは学校生活の中の様々な場面で活かされています。一つ目は、行事です。それぞれの行事ごとに、実行委員会を中心に、全校生徒でスローガンを決め、それに向かって生徒が主体となって行事を進めていきます。そのため、準備の段階から生徒一人ひとりの積極性が見え、本番でその成果が発揮されます。運動会では、男子は「大中ソーラン」、女子は「よさこい」を踊ります。そのダンス練習では、先輩が後輩にダンスを教え、それと同時に、先輩の姿を見て後輩が学ぶという伝統が受け継がれていきます。昨年は学年別での実施になってしまいましたが、そうして全校が一つになって全力で取り組んだ運動会は圧巻で、やり終えたあとには大きな達成感を得ることができました。運動会とともに二大行事と呼ばれる合唱コンクールは、近くのホールを貸し切り、このステージよりも広い場所で歌います。各クラス、課題曲と自由曲を本番に向けて練習していきます。昨年と一昨年は感染症拡大の影響で中止となり、私たち在校生は本番で歌うことができませんでしたが、本番に向けての練習は回数が増えるごとに充実したものになっていきました。クラスの団結力が高まっていくことを実感することができました。今年度は全校生徒が同じステージで歌い、練習では経験できない感動を全員で分かち合いたいと思っています。二つ目は、授業です。授業の二分前には自習を開始するという取り組みを行っています。集中して授業に参加できるように、すべての学年で取り組んでいます。また、一昨年からは、タブレットを活用した授業が始まり、意見を共有したり、スライドを作って発表を行ったりして、学習しています。三つ目は、部活動です。中学校で一番楽しみにしている人もいます。大泉中学校では21の部活動が日々活発に活動しています。人数の多さを活かして、たくさんの仲間と支え合い、高め合って目標を目指しています。ぜひ、たくさんの部活動を見たり体験したりして、自分が輝ける場所を見つけてください。

今日から、みなさんは、晴れて大泉中学校の生徒の一員となります。中学校の三年間という時間は想像以上にあっという間です。ぜひ、この大泉中学校で、私たちや先生方、そして仲間とともに目標に向かって様々なことを経験して、充実した三年間を過ごしてください。これから私たちと一緒にさらに良い大泉中学校をつくっていきましょう。新入生のみなさんの中学校生活での活躍を、心から願い、歓迎の言葉といたします。



4月 25 日(月)以降の学校生活について

保護者の皆様、先日の保護者会へのご参加、ありがとうございました。その際もお知らせいたしましたが、練馬区のガイドラインに沿って、以下のように教育活動を実施してまいりますので、よろしくお願いいたします。

(1) 基本事項

- ①登校時の検温、マスクの着用 ②可能な限り身体的距離(少なくとも1メートル程度)の確保 ③教室の換気扇の常時稼働など活動場所の十分な換気 ④活動前後の手洗いや手指消毒等を徹底します。

(2) 授業中の学習活動について

- ①小集団での話し合いは、机の合わせ方を工夫し、1メートル程度の身体的距離を確保して行います。
②理科の実験観察は、グループ人数の最少化、顔や頭を寄せ合う状況を回避して行います。
③音楽科の歌唱は、マスクを着用して行います。リコーダーは、使用しなときはマスクを着用させます。また、身体的距離の確保、前後の生徒が重ならない隊形等の工夫をして行います。
④家庭科の調理実習は、役割分担、対面しない座席配置、並列、パーティションの設置等をして行います。
⑤体育用具等、共用の用具・教具を使用する際は、使用前後の手洗いや手指消毒を徹底させます。

(3) 異学年の交流

- ①体育館での集会は、2つの学年の同時入場までとします。前後左右の距離を可能な限り確保します。
②生徒会・委員会活動等は、必要最小限度の範囲で行います。

(4) 部活動について

- ①公式戦、練習試合、合同練習等、生徒・保護者への丁寧な説明と十分な理解を得たうえで実施します。
②やむを得ず公共交通機関を利用する場合は、分散する、混雑時を避けるなどの工夫をして引率します。

～ マイステップアップルーム ～

令和元年度から、練馬区の全ての中学校で「特別支援教室」が開設され、MY STEP UP ROOM (マイステップアップルーム) という名称で統一されました。「自分自身をステップアップしていく。個性を伸ばす。」という思いが込められています。

マイステップアップルームでは、「困っていること」「悩んでいること」に自分自身で対応できるように、対処方法や学校生活での工夫など、自立活動の指導や支援を行います。

大泉中の MY STEP UP ROOM は、北棟3階 学習室の隣にあります。この教室には専属の先生と巡回教員の先生がいます。

大泉中学校の特別支援教室専門員(専属の先生)は峯川美希(みねかわ みき)先生です。また、毎週火曜日と金曜日に、巡回教員の阿左美潤(あざみ じゅん)先生、杉政華子(すぎまさ はなこ)先生、中井泰子(なかい やすこ)先生、佐藤桃華(さとう ももか)先生が来校します。

先生方とは授業の見学や休み時間などにお会いすることがあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◆練馬区学校連絡メールの登録をお願いいたします。

練馬区教育委員会では、災害時や緊急時に、あらかじめ登録した保護者のメールアドレスに学校等からお子様の状況や防犯・行事などに関する情報を配信する「練馬区学校連絡メール」システムを平成25年9月より導入しています。本校では毎年、登録のお願いをし、多くの保護者の方に登録をいただいております。今年度もすべての保護者の皆様に登録をしていただきたくお願いいたします。未登録の方には、登録のご案内(登録手順書等)を配付いたしますので、各担任までお申し出ください。



